

【表紙】

【提出書類】	公開買付届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【届出者の名称】	株式会社構造計画研究所
【届出者の所在地】	東京都中野区本町四丁目38番13号 日本ホルスタイン会館内
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区本町四丁目38番13号 日本ホルスタイン会館内
【電話番号】	(03) 5342 - 1100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 湯口 達夫
【代理人の氏名又は名称】	該当事項はありません。
【代理人の住所又は所在地】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	該当事項はありません。
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社構造計画研究所 (東京都中野区本町四丁目38番13号 日本ホルスタイン会館内) 株式会社構造計画研究所 大阪支社 (大阪市中央区淡路町三丁目6番3号 NMプラザ御堂筋ビル5階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注1) 本書中の「公開買付者」及び「当社」とは、株式会社構造計画研究所を指します。

(注2) 本書中の記載において、「法」とは金融商品取引法(昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。)、
「令」とは金融商品取引法施行令(昭和40年政令第321号。その後の改正を含みます。)、
「府令」とは発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令(平成6年大蔵省令第95号。その後の改正を含みます。)を指します。

(注3) 本書中の記載において、計数が四捨五入又は切捨てされている場合、合計として記載される数値は計数の総和と必ずしも一致しません。

(注4) 本書中の記載において、日数又は日時の記載がある場合は、別段の記載がない限り、日本国における日数又は日時を指すものとします。

(注5) 本書中の「株券等」とは、株式についての権利を指します。

(注6) 本書中の「本公開買付け」とは、本書の提出に係る公開買付けを指します。

第1 【公開買付要項】

1 【買付け等をする上場株券等に係る株式の種類】

普通株式

2 【買付け等の目的】

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として認識しております。当社は、昭和34年5月の創業当初は構造設計などの構築物を対象にデザイン（設計）を行ってまいりましたが、様々な「知」の循環を通じて活動領域を広げ、建物（人工構築物）の構造設計業務のみならず、構築物を取り巻く自然と環境（地震、津波、風など）の解析やシミュレーションを行う業務、さらに社会・企業・コミュニティの抱える問題の解決を支援する業務を展開してまいりました。今後も特定の分野に固執することなく、社会のニーズを的確にとらえ、ビジネスの場（機会）と面（領域）を広げていき、世界に通用する「Professional Design & Engineering Firm」を目指し邁進することを中長期的な会社の経営戦略としており、当社の組織に蓄積された「組織知」に加え、大学・研究機関との共同研究の中で培った「学問知」、実際のビジネス現場である産業界で培われた「経験知」を融合させ、今までにない新しい価値（工学知）を提供することが、当社の付加価値（ステークホルダーへの分配可能原資）の源泉となっています。持続的な成長を維持し、付加価値を向上させるためには、価値を創り出す所員の成長・増員と、その価値を提供する「場」の創出が不可欠であるとの認識のもと、グローバル化や高度化が進む社会の課題に対し柔軟に対応しうる人材の育成に努めるとともに、人材の多様性を念頭に優秀かつユニークな人材を確保することで、高付加価値サービスを生み出す経営資源の拡充を図るとともに、そのような所員が活躍できる「場」を広げるため、新たな領域への事業開拓投資、次世代の技術開発としての研究開発投資及び国内外のパートナーとの連携も積極的に行ってまいります。当社は、経営基盤の強化及びこのような将来の事業展開に備えての内部留保並びに配当可能額の水準を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを利益配分に関する基本方針としております。また、当社は、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。）第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって市場取引等により自己の株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは、資本効率の向上を図るとともに経営環境の変化に対応した将来の機動的な資本政策の遂行及び利益の一部を株主の皆様へ還元することを目的とするものであります。

かかる状況の下、当社は、平成25年9月25日に、合同会社A s t i インベストメント（以下「A s t i」といいます。）から、A s t i が平成25年9月30日付で当社の代表取締役社長である服部正太氏の実母であり、かつ当社の筆頭株主であり主要株主であった服部登喜子氏（保有する当社普通株式1,265,800株（本書提出日現在の当社の発行済株式総数（6,106,000株）に対する割合20.73%（以下「保有割合」といい、小数点以下第三位四捨五入しています。以下、保有割合の計算において同じとします。））及び同氏の次男であり当社の代表取締役社長である服部正太氏の弟である服部明人氏（保有する当社普通株式495,000株、保有割合8.11%）から保有する当社普通株式の全て（合計1,760,800株、保有割合の合計28.84%）を譲り受けることに合意した旨の連絡を受け、当社は平成25年9月26日付で服部登喜子氏及び服部明人氏がそれぞれ提出した大量保有報告書の変更報告書（報告義務発生日は両者とも平成25年9月25日）並びに平成25年10月2日付でA s t i が提出した大量保有報告書（報告義務発生日は平成25年9月25日）をもって当該合意がなされ更に株式の譲渡が実際に行われたことを確認しました。なお、A s t i は未上場株式等への投資業務、及び投資事業組合の運営管理業務を事業内容とするアント・キャピタル・パートナーズ株式会社が無限責任組合員であるアント・ブリッジ3号A投資事業有限責任組合が100%出資する合同会社であり、当社株式の取得、保有及び処分を目的としております。詳細は平成25年9月25日付で当社が公表した「株式の売出し、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」及び平成25年9月26日付で服部登喜子氏及び服部明人氏がそれぞれ提出した大量保有報告書の変更報告書（報告義務発生日は両者とも平成25年9月25日）並びに平成25年10月2日付でA s t i が提出した大量保有報告書（報告義務発生日は平成25年9月25日）をご参照下さい。

当社は、A s t i の投資会社という性格上、同社に安定的に当社普通株式を継続して保有いただけない可能性があることを前提とし、将来的に大量の当社普通株式が売却されることを視野に入れて、当社の経営方針や事業計画、財務状況等を踏まえ今後の資本政策について慎重に検討し、一時的に大量の当社普通株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場株価に与える影響並びに株主構成が大幅に変更されることによる経営の不安定化を鑑み、平成25年10月頃に当社が自己株式として取得することの可能性の検討を開始し、自己株式の取得の方法としては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から公開買付けの手法とすることとしました。

また、本公開買付けにおける買付け等の価格（以下「本公開買付価格」といいます。）の決定に際しては、当社普通株式が金融商品取引所に上場されていること、上場会社の行う自己株式の取得が金融商品取引所を通じた市場買付けによって行われることが多いことを勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、基礎となる当社普通株式の適正な価格として市場価格を参考にすべきであると考え、その上で、当社は、平成26年1月初旬頃に本公開買付けに応募せず当社普通株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできる限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買付けることが望ましいと判断いたしました。

当社は、上記の検討内容を踏まえ、平成26年1月中旬に、A s t iに対して、当社が本公開買付け実施の意向を有していることを伝え、本公開買付けの実施時期についてA s t iと具体的な意見交換を行うとともに、当社が本公開買付けを実施した場合の応募についてA s t iに打診を行い、同月下旬から本公開買付価格及びA s t iが保有する当社普通株式の売却可能な数など本公開買付けの具体的な条件についてA s t iと協議いたしました。これを受けて当社において熟慮検討した後、当社は、本公開買付けの取締役会決議日の前営業日（平成26年2月12日）までの過去6ヶ月間の株式会社東京証券取引所JASDAQ（以下「JASDAQ」といいます。）市場における当社普通株式の終値の単純平均値1,191円（円未満四捨五入。以下、終値の単純平均値の計算において同じとします。）に対して16%のディスカウントとなる1,000円（円未満四捨五入）を本公開買付価格とすること、本公開買付けにおける買付予定数については、A s t iが保有する当社普通株式数を踏まえ、一般株主の皆様に対しても公平な応募機会を提供することとし、当社の直近の財務状況から財務の健全性及び安定性を考慮した上で、1,400,000株（保有割合22.93%）を上限とすることが適切であると判断し、平成26年2月初旬にA s t iに提案いたしました。その結果、当社が本公開買付けの実施を決議した場合には、A s t iより上記条件にてその保有する当社普通株式1,760,800株の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）について、本公開買付けに対して応募する旨の回答を平成26年2月7日に得られました。当社は、以上の検討及び判断を経て、平成26年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として本公開買付けを行うことを決議いたしました。なお、当社はA s t iとの間で、平成26年2月13日付けで本公開買付けにA s t iが保有する当社普通株式の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）を応募する旨の公開買付けに関する応募契約書を締結しており、かかる応募の前提条件は存在しません。また、A s t iの保有する当社普通株式の全て（1,760,800株）には、株式会社りそな銀行による担保権が設定されておりますが、上記契約書において、A s t iは、その保有する当社普通株式の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）について、本公開買付けにおける買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）の末日までに当該担保権を解除した上で本公開買付けに応募するものとされております。

本公開買付価格である1,000円は、本公開買付けの実施を決議した取締役会の開催日である平成26年2月13日の前営業日（同年2月12日）の当社普通株式の終値1,136円から11.97%（小数点以下第三位を四捨五入）、同年2月12日までの過去1ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,203円から16.87%（小数点以下第三位を四捨五入）、同日までの過去3ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,177円から15.04%（小数点以下第三位を四捨五入）、同日までの過去6ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,191円から16.04%（小数点以下第三位を四捨五入）をそれぞれディスカウントした金額となります。

また、本公開買付価格である1,000円は本書提出日の前営業日（平成26年2月13日）の当社普通株式の終値1,150円に対して13.04%（小数点以下第三位を四捨五入）をディスカウントした金額となります。

A s t iは、本書提出日現在、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当しておりますが、本公開買付けにA s t iがその保有する当社普通株式（1,760,800株、保有割合：28.84%）の一部である1,284,500株（保有割合：21.04%）を本公開買付けに応募した場合、本公開買付け後においてA s t iは引き続き当社の主要株主（注）となるものの、筆頭株主及びその他の関係会社に該当しないこととなり、筆頭株主及びその他の関係会社の異動が生じる予定です。なお、A s t iによると、A s t iが本公開買付けに応募しない当社普通株式476,300株（保有割合：7.80%）に係る本公開買付け終了後における保有方針については、現時点においては未定とのことです。

なお、本公開買付けに要する資金については、その全額を銀行借入れにより充当する予定ですが、当社の今後の事業から生み出される安定的なキャッシュ・フローを考慮すれば、当社の財務の健全性及び安定性を維持しつつ、今後の設備投資・研究開発活動や配当政策に大きな影響を与えることなく返済を行っていくことが可能と見込まれます。

また、本公開買付けにより取得した自己株式の処分等の方針については、現時点では未定であります。

(注) Astiが、本書提出日現在その保有する当社普通株式(1,760,800株)の一部である1,284,500株を本公開買付けに応募し、同株式数が売却された場合の本公開買付け後において保有することとなる当社普通株式(476,300株)に係る議決権の数(4,763個)を分子とし、本書提出日現在の当社の発行済株式総数(6,106,000株)から、本書提出日の前営業日(平成26年2月13日)現在当社が保有する自己株式数(314,928株)及びAstiが本公開買付けに応募する株式(1,284,500株)を合計した株式数(1,599,428株)を控除した株式数(4,506,572株)に係る議決権の数(45,065個)を分母として除した当社普通株式に係るAstiの議決権所有割合は10.57%(小数点以下第三位四捨五入)となり、本公開買付け後においてもAstiは引き続き当社の主要株主となることとなります。

3 【株主総会又は取締役会の決議等の内容等】

(1) 【発行済株式の総数】

6,106,000株(平成26年2月14日現在)

(2) 【株主総会における決議内容】

種類	総数(株)	取得価額の総額(円)

(3) 【取締役会における決議内容】

種類	総数(株)	取得価額の総額(円)
普通株式	1,400,100	1,400,100,000

(注) 取得する株式総数の発行済株式の総数に占める割合は、22.93%であります(小数点以下第三位を四捨五入)。

(4) 【その他()】

種類	総数(株)	取得価額の総額(円)

(5) 【上記の決議に基づいて既に取得した自己の株式に係る上場株券等】

種類	総数(株)	取得価額の総額(円)

4 【買付け等の期間、買付け等の価格、算定の基礎及び買付予定の上場株券等の数】

(1) 【買付け等の期間】

買付け等の期間	平成26年2月14日(金曜日)から平成26年3月13日(木曜日)まで(20営業日)
公告日	平成26年2月14日(金曜日)
公告掲載新聞名	電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。 (電子公告アドレス http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/)

(2) 【買付け等の価格等】

株式の種類	買付け等の価格
普通株式	1株につき金1,000円
算定の基礎	<p>本公開買付価格の決定に際しては、当社普通株式が金融商品取引所に上場されていること、上場会社の行う自己株式の取得が金融商品取引所を通じた市場買付けによって行われることが多いことを勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、基礎となる当社普通株式の適正な価格として市場価格を参考にすべきであると考えました。具体的には、当社が本公開買付けの実施を決議した取締役会の開催日である平成26年2月13日の前営業日（同年2月12日）のJASDAQ市場における当社普通株式の終値1,136円、同年2月12日までの過去1ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,203円、同日までの過去3ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,177円及び同日までの過去6ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,191円を参考にしました。</p> <p>その上で、当社は、平成26年1月初旬頃に本公開買付けに応募せず当社普通株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできる限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買付けることが望ましいと判断いたしました。</p> <p>当社は、上記の検討内容を踏まえ、平成26年1月中旬に、Astiに対して、当社が本公開買付け実施の意向を有していることを伝え、本公開買付けの実施時期についてAstiと具体的な意見交換を行うとともに、当社が本公開買付けを実施した場合の応募についてAstiに打診を行い、同月下旬から本公開買付価格及びAstiが保有する当社普通株式の売却可能な数など本公開買付けの具体的な条件についてAstiと協議いたしました。これを受けて当社において熟慮検討した後、当社は、本公開買付けの取締役会決議日の前営業日（平成26年2月12日）までの過去6ヶ月間のJASDAQ市場における当社普通株式の終値の単純平均値1,191円に対して16%のディスカウントとなる1,000円（円未満四捨五入）を本公開買付価格とすること、本公開買付けにおける買付予定数については、Astiが保有する当社普通株式数を踏まえ、一般株主の皆様に対しても公平な応募機会を提供することとし、当社の直近の財務状況から財務の健全性及び安定性を考慮した上で、1,400,000株（保有割合22.93%）を上限とすることが適切であると判断し、平成26年2月初旬にAstiに提案いたしました。その結果、当社が本公開買付けの実施を決議した場合には、Astiより上記条件にてその保有する当社普通株式1,760,800株の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）について、本公開買付けに対して応募する旨の回答を平成26年2月7日に得られました。以上を踏まえ、当社は平成26年2月13日開催の取締役会において、本公開買付価格を1,000円に決定しました。なお、当社はAstiとの間で、平成26年2月13日付けで本公開買付けにAstiが保有する当社普通株式の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）を応募する旨の公開買付けに関する応募契約書を締結しており、かかる応募の前提条件は存在しません。また、Astiの保有する当社普通株式の全て（1,760,800株）には、株式会社りそな銀行による担保権が設定されておりますが、上記契約書において、Astiは、その保有する当社普通株式の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）について、公開買付期間の末日までに当該担保権を解除した上で本公開買付けに応募するものとされており、Astiは、本書提出日現在、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当してはおりますが、本公開買付けにAstiがその保有する当社普通株式（1,760,800株、保有割合：28.84%）の一部である1,284,500株（保有割合：21.04%）を本公開買付けに応募した場合、本公開買付け後においてAstiは引き続き当社の主要株主（注）となるものの、筆頭株主及びその他の関係会社に該当しないこととなり、筆頭株主及びその他の関係会社の異動が生じる予定です。なお、Astiによると、Astiが本公開買付けに応募しない当社普通株式476,300株（保有割合：7.80%）に係る本公開買付け終了後における保有方針については、現時点においては未定とのことです。</p>

	<p>本公開買付価格である1,000円は、本公開買付けの実施を決議した取締役会の開催日である平成26年2月13日の前営業日（同年2月12日）の当社普通株式の終値1,136円から11.97%（小数点以下第三位を四捨五入）、同年2月12日までの過去1ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,203円から16.87%（小数点以下第三位を四捨五入）、同日までの過去3ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,177円から15.04%（小数点以下第三位を四捨五入）、同日までの過去6ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値1,191円から16.04%（小数点以下第三位を四捨五入）をそれぞれディスカウントした金額となります。</p> <p>また、本公開買付価格である1,000円は本書提出日の前営業日（平成26年2月13日）の当社普通株式の終値1,150円に対して13.04%（小数点以下第三位を四捨五入）をディスカウントした金額となります。</p> <p>（注） A s t i が、本書提出日現在その保有する当社普通株式（1,760,800株）の一部である1,284,500株を本公開買付けに応募し、同株式数が売却された場合の本公開買付け後において保有することとなる当社普通株式（476,300株）に係る議決権の数（4,763個）を分子とし、本書提出日現在の当社の発行済株式総数（6,106,000株）から、本書提出日の前営業日（平成26年2月13日）現在当社が保有する自己株式数（314,928株）及び A s t i が本公開買付けに応募する株式（1,284,500株）を合計した株式数（1,599,428株）を控除した株式数（4,506,572株）に係る議決権の数（45,065個）を分母として除した当社普通株式に係る A s t i の議決権所有割合は10.57%（小数点以下第三位四捨五入）となり、本公開買付け後においても A s t i は引き続き当社の主要株主となることとなります。</p>
算定の経緯	<p>当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として認識しております。当社は、昭和34年5月の創業当初は構造設計などの構築物を対象にデザイン（設計）を行ってききましたが、様々な「知」の循環を通じて活動領域を広げ、建物（人工構築物）の構造設計業務のみならず、構築物を取り巻く自然と環境（地震、津波、風など）の解析やシミュレーションを行う業務、さらに社会・企業・コミュニティの抱える問題の解決を支援する業務を展開してまいりました。今後も特定分野に固執することなく、社会のニーズを的確にとらえ、ビジネスの場（機会）と面（領域）を広げていき、世界に通用する「Professional Design & Engineering Firm」を目指し邁進することを中長期的な会社の経営戦略としており、当社の組織に蓄積された「組織知」に加え、大学・研究機関との共同研究の中で培った「学問知」、実際のビジネス現場である産業界で培われた「経験知」を融合させ、今までにない新しい価値（工学知）を提供することが、当社の付加価値（ステークホルダーへの分配可能原資）の源泉となっています。持続的な成長を維持し、付加価値を向上させるためには、価値を創り出す所員の成長・増員と、その価値を提供する「場」の創出が不可欠であるとの認識のもと、グローバル化や高度化が進む社会の課題に対し柔軟に対応しうる人材の育成に努めるとともに、人材の多様性を念頭に優秀かつユニークな人材を確保することで、高付加価値サービスを生み出す経営資源の拡充を図るとともに、そのような所員が活躍できる「場」を広げるため、新たな領域への事業開拓投資、次世代の技術開発としての研究開発投資及び国内外のパートナーとの連携も積極的に行ってまいります。当社は、経営基盤の強化及びこのような将来の事業展開に備えての内部留保並びに配当可能額の水準を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを利益配分に関する基本方針としております。また、当社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって市場取引等により自己の株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは、資本効率の向上を図るとともに経営環境の変化に対応した将来の機動的な資本政策の遂行及び利益の一部を株主の皆様へ還元することを目的とするものであります。</p>

かかる状況の下、当社は、平成25年9月25日に、A s t i から、A s t i が平成25年9月30日付で当社の代表取締役社長である服部正太氏の実母であり、かつ当社の筆頭株主であり主要株主であった服部登喜子氏（保有する当社普通株式1,265,800株、保有割合20.73%）及び同氏の次男であり当社の代表取締役社長である服部正太氏の弟である服部明人氏（保有する当社普通株式495,000株、保有割合8.11%）から保有する当社普通株式の全て（合計1,760,800株、保有割合の合計28.84%）を譲り受けることに合意した旨の連絡を受け、当社は平成25年9月26日付で服部登喜子氏及び服部明人氏がそれぞれ提出した大量保有報告書の変更報告書（報告義務発生日は両者とも平成25年9月25日）並びに平成25年10月2日付でA s t i が提出した大量保有報告書（報告義務発生日は平成25年9月25日）をもって当該合意がなされ更に株式の譲渡が実際に行われたことを確認しました。なお、A s t i は未上場株式会社等への投資業務、及び投資事業組合の運営管理業務を事業内容とするアント・キャピタル・パートナーズ株式会社が無限責任組合員であるアント・ブリッジ3号A投資事業有限責任組合が100%出資する合同会社であり、当社株式の取得、保有及び処分を目的としております。詳細は平成25年9月25日付で当社が公表した「株式の売出し、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」及び平成25年9月26日付で服部登喜子氏及び服部明人氏がそれぞれ提出した大量保有報告書の変更報告書（報告義務発生日は両者とも平成25年9月25日）並びに平成25年10月2日付でA s t i が提出した大量保有報告書（報告義務発生日は平成25年9月25日）をご参照下さい。

当社は、A s t i の投資会社という性格上、同社に安定的に当社普通株式を継続して保有いただけない可能性があることを前提とし、将来的に大量の当社普通株式が売却されることを視野に入れて、当社の経営方針や事業計画、財務状況等を踏まえ今後の資本政策について慎重に検討し、一時的に大量の当社普通株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場株価に与える影響並びに株主構成が大幅に変更されることによる経営の不安定化を鑑み、平成25年10月頃に当社が自己株式として取得することの可能性の検討を開始し、自己株式の取得の方法としては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から公開買付けの手法とすることとしました。

また、本公開買付価格の決定に際しては、当社普通株式が金融商品取引所に上場されていること、上場会社の行う自己株式の取得が金融商品取引所を通じた市場買付けによって行われることが多いことを勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、基礎となる当社普通株式の適正な価格として市場価格を参考にすべきであると考え、その上で、当社は、平成26年1月初旬頃に本公開買付けに応募せず当社普通株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできる限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買付けることが望ましいと判断いたしました。

当社は、上記の検討内容を踏まえ、平成26年1月中旬に、A s t iに対して、当社が本公開買付け実施の意向を有していることを伝え、本公開買付けの実施時期についてA s t iと具体的な意見交換を行うとともに、当社が本公開買付けを実施した場合の応募についてA s t iに打診を行い、同月下旬から本公開買付け価格及びA s t iが保有する当社普通株式の売却可能な数など本公開買付けの具体的な条件についてA s t iと協議いたしました。これを受けて当社において熟慮検討した後、当社は、本公開買付けの取締役会決議日の前営業日（平成26年2月12日）までの過去6ヶ月間のJASDAQ市場における当社普通株式の終値の単純平均値1,191円に対して16%のディスカウントとなる1,000円（円未満四捨五入）を本公開買付け価格とすること、本公開買付けにおける買付予定数については、A s t iが保有する当社普通株式数を踏まえ、一般株主の皆様に対しても公平な応募機会を提供することとし、当社の直近の財務状況から財務の健全性及び安定性を考慮した上で、1,400,000株（保有割合22.93%）を上限とすることが適切であると判断し、平成26年2月初旬にA s t iに提案いたしました。その結果、当社が本公開買付けの実施を決議した場合には、A s t iより上記条件にてその保有する当社普通株式1,760,800株の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）について、本公開買付けに対して応募する旨の回答を平成26年2月7日に得られました。当社は、以上の検討及び判断を経て、平成26年2月13日開催の取締役会において、本公開買付け価格を1,000円と決定し、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として本公開買付けを行うことを決議いたしました。なお、当社はA s t iとの間で、平成26年2月13日付けで本公開買付けにA s t iが保有する当社普通株式の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）を応募する旨の公開買付けに関する応募契約書を締結しており、かかる応募の前提条件は存在しません。また、A s t iの保有する当社普通株式の全て（1,760,800株）には、株式会社りそな銀行による担保権が設定されておりますが、上記契約書において、A s t iは、その保有する当社普通株式の一部である1,284,500株（保有割合21.04%）について、公開買付け期間の末日までに当該担保権を解除した上で本公開買付けに応募するものとされており。

A s t iは、本書提出日現在、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当しておりますが、本公開買付けにA s t iがその保有する当社普通株式（1,760,800株、保有割合：28.84%）の一部である1,284,500株（保有割合：21.04%）を本公開買付けに応募した場合、本公開買付け後においてA s t iは引き続き当社の主要株主（注）となるものの、筆頭株主及びその他の関係会社に該当しないこととなり、筆頭株主及びその他の関係会社の異動が生じる予定です。なお、A s t iによると、A s t iが本公開買付けに応募しない当社普通株式476,300株（保有割合：7.80%）に係る本公開買付け終了後における保有方針については、現時点においては未定とのことです。

（注） A s t iが、本書提出日現在その保有する当社普通株式（1,760,800株）の一部である1,284,500株を本公開買付けに応募し、同株式数が売却された場合の本公開買付け後において保有することとなる当社普通株式（476,300株）に係る議決権の数（4,763個）を分子とし、本書提出日現在の当社の発行済株式総数（6,106,000株）から、本書提出日の前営業日（平成26年2月13日）現在当社が保有する自己株式数（314,928株）及びA s t iが本公開買付けに応募する株式（1,284,500株）を合計した株式数（1,599,428株）を控除した株式数（4,506,572株）に係る議決権の数（45,065個）を分母として除した当社普通株式に係るA s t iの議決権所有割合は10.57%（小数点以下第三位四捨五入）となり、本公開買付け後においてもA s t iは引き続き当社の主要株主となることとなります。

(3) 【買付予定の上場株券等の数】

株式の種類	買付予定数	超過予定数	計
普通株式	1,400,000 (株)	(株)	1,400,000 (株)
合計	1,400,000 (株)	(株)	1,400,000 (株)

(注1) 応募株券等の数の合計が買付予定数(1,400,000株)を超えないときは、応募株券等の全部の買付けを行います。応募株券等の数の合計が買付予定数を超えるときは、その超える部分の全部又は一部の買付けは行わないものとし、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び府令第21条に規定するあん分比例の方式により、株券等の買付け等に係る受渡しその他の決済を行います。

(注2) 単元未満株式についても本公開買付けの対象としています。なお、会社法に従って株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合は、当社は法令の手続きに従い公開買付け期間中に自己の株式を買い取ることがあります。

5 【上場株券等の取得に関する許可等】

該当事項はありません。

6 【応募及び契約の解除の方法】

(1) 【応募の方法】

公開買付代理人

みずほ証券株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号

本公開買付けに応募する際には、所定の「公開買付応募申込書」に所要事項を記載し、公開買付け期間の末日の15時までに、公開買付代理人の本店又は全国各支店において応募してください。

本公開買付けに係る応募の受け付けにあたっては、本公開買付けに応募する株主(以下「応募株主等」といいます。)が、公開買付代理人に証券取引口座を開設した上、応募する予定の株券等を当該証券取引口座に記録管理している必要があります。本公開買付けにおいては、公開買付代理人以外の金融商品取引業者等を経由した応募の受け付けは行われません。また、本公開買付けにおいては、当社指定の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社に設定された特別口座に記録されている株券等をもって本公開買付けに応募することは出来ません。応募する予定の株券等が、公開買付代理人以外の金融商品取引業者等に開設された証券取引口座又は特別口座の口座管理機関に設定された特別口座に記載又は記録されている場合は、応募に先立ち、公開買付代理人に開設した証券取引口座への振替手続を完了していただく必要があります。(注1)

応募株主等は、応募に際しては、上記「公開買付応募申込書」とともに、ご印鑑をご用意ください。

公開買付代理人に証券取引口座を開設しておられない応募株主等には、新規に証券取引口座を開設していただく必要があります。証券取引口座を開設される場合には、本人確認書類(注2)が必要になります。なお、既に口座を有している場合であっても、登録情報に変更がある場合などは、新たに本人確認書類が必要な場合がありますのでご注意ください。

上記 の応募株券等の振替手続及び上記 の口座の新規開設には一定の日数を要する場合がありますのでご注意ください。

外国の居住者である株主(法人株主を含みます。以下「外国人株主」といいます。)の場合、日本国内の常任代理人を通じて応募してください。

公開買付けに応募した場合の税務上の取扱いは、次のとおりです()。

(イ) 個人株主の場合

本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額が、公開買付者である株式発行法人の資本金等の額(連結法人の場合は連結個別資本金等の額)のうち交付の基となった株式に対応する部分の金額を超えるときは、その超える部分の金額(以下「みなし配当の金額」といいます。)は配当所得に係る収入金額となります。また、交付を受ける金銭の額からみなし配当の金額を除いた部分の金額は株式の譲渡所得等に係る収入金額とみなされます。なお、みなし配当の金額が生じない場合は、交付を受ける金銭の額の全てが株式の譲渡所得等に係る収入金額となります。

みなし配当の金額に対しては、原則として、その金額の20.315%（所得税及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）に基づく復興特別所得税（以下「復興特別所得税」といいます。）：15.315%、住民税：5%）に相当する金額が源泉徴収されます（非居住者については、住民税は徴収されません。）。ただし、個人株主が租税特別措置法施行令第4条の6の2第12項に規定する大口株主等（以下「大口株主等」といいます。）に該当する場合は、20.42%（所得税及び復興特別所得税のみ）を乗じた金額が源泉徴収されます。また、株式の譲渡所得等に係る収入金額から当該株式に係る取得費等を控除した金額は、原則として、申告分離課税の対象となります（国内に恒久的施設を有しない非居住者については、原則として、課税の対象となりません。）。

(ロ) 法人株主の場合

みなし配当の金額については、配当等の額となり、原則として、その金額に15.315%（所得税及び復興特別所得税）を乗じた金額が源泉徴収されます。また、交付を受ける金銭の額のうち、みなし配当の金額以外の金額は、有価証券の譲渡に係る対価の額となります。

() 税務上の具体的なご質問等につきましては、税理士等の専門家にご確認いただき、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

応募の受け付けに際し、公開買付代理人より応募株主等に対して、公開買付応募申込みの受付票が交付されず。

(注1) 当社指定の特別口座の口座管理機関に設定された特別口座から公開買付代理人の証券取引口座に株券等の記録を振替える手続について

当社指定の特別口座の口座管理機関に設定された特別口座から公開買付代理人の証券取引口座に株券等の記録を振替える手続を公開買付代理人経由又は特別口座の口座管理機関にて行う場合は、特別口座の口座管理機関に届け出ている個人情報と同一の情報が記載された「口座振替申請書」による申請が必要となります。詳細については、公開買付代理人又は特別口座の口座管理機関にお問い合わせくださいようお願い申し上げます。

(注2) 本人確認書類について

公開買付代理人において新規に証券取引口座を開設される場合又は日本国内の常任代理人を通じて応募する外国人株主の場合には、次の本人確認書類が必要となります。本人確認書類等の詳細については、公開買付代理人へお問い合わせください。

個人・・・住民票の写し(6ヶ月以内に作成されたもの)、健康保険証、運転免許証等(氏名、住所、生年月日全てを確認できるもの)。

法人・・・登記事項証明書(6ヶ月以内に作成されたもので名称及び本店又は主たる事務所の所在地並びに事業内容を確認できるもの)。

法人自体の本人確認に加え、取引担当者(当該法人の代表者が取引する場合はその代表者)個人の本人確認が必要となります。

外国人株主・・・日本国政府の承認した外国政府又は権限ある国際機関の発行した書類その他これに類するもので、居住者の上記本人確認書類に準じるもの等(本人確認書類は、自然人の場合は、氏名、住所、生年月日の記載のあるもの(1)、法人の場合は、名称及び本店又は主たる事務所の所在地並びに事業内容の記載のあるもの(2)が必要です。また、当該本人確認書類は、自然人及び法人ともに6ヶ月以内に作成されたもの、又は有効期間若しくは期限のある書類は有効なものに限ります。)及び常任代理人との間の委任契約に係る委任状又は契約書の写し(3)が必要となります。

(1) 外国に居住される日本国籍を有する株主の方は、原則としてパスポートの提出をお願いいたします。

(2) 法人の場合、当該法人の事業内容の確認が必要であるため、本人確認書類に事業内容の記載がない場合は、別途事業内容の確認できる書類(居住者の本人確認書類に準じる書類又は外国の法令の規定により当該法人が作成されることとされている書類で事業内容の記載があるもの)の提出が必要です。

(3) 当該外国人株主の氏名又は名称、国外の住所地の記載のあるもの限り、常任代理人による証明年月日、常任代理人の名称、住所、代表者又は署名者の氏名及び役職が記載され、公開買付代理人の証券取引口座に係る届出印により原本証明が付されたもの。

(2) 【契約の解除の方法】

応募株主等は、公開買付期間中においては、いつでも公開買付けに係る契約を解除することができます。契約の解除をする場合は、公開買付期間の末日の15時まで、応募受けをした公開買付代理人の本店又は全国各支店に公開買付応募申込みの受付票を添付の上、公開買付けに係る契約の解除を行う旨の書面（以下「解除書面」といいます。）を交付又は送付してください。契約の解除は、解除書面が公開買付代理人に交付され、又は到達した時に効力を生じます。従って、解除書面を送付する場合は、解除書面が公開買付期間の末日の15時まで、公開買付代理人に到達しなければ解除できないことにご注意ください。

解除書面を受領する権限を有する者

みずほ証券株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号
(その他みずほ証券株式会社全国各支店)

(3) 【上場株券等の返還方法】

応募株主等が上記「(2) 契約の解除の方法」に記載の方法により公開買付けに係る契約の解除を申し出た場合には、解除手続終了後速やかに後記「8 決済の方法」の「(4) 上場株券等の返還方法」に記載の方法により応募株券等を返還いたします。

(4) 【上場株券等の保管及び返還を行う金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地】

みずほ証券株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号

7 【買付け等に要する資金】

(1) 【買付け等に要する資金】

買付代金 (円) (a)	1,400,000,000
買付手数料(b)	21,000,000
その他(c)	2,700,000
合計(a) + (b) + (c)	1,423,700,000

(注1) 「買付代金(円) (a)」欄には、買付予定数(1,400,000株)に1株当たりの買付価格(1,000円)を乗じた金額を記載しています。

(注2) 「買付手数料(b)」欄には、公開買付代理人に支払う手数料の見積額を記載しています。

(注3) 「その他(c)」欄には、本公開買付けに関する公告に要する費用及び公開買付説明書その他必要書類の印刷費等の諸費用につき、その見積額を記載しています。

(注4) その他公開買付代理人に支払われる諸経費及び弁護士報酬等がありますが、その額は未定です。

(注5) 上記金額には、消費税及び地方消費税は含んでいません。

(2) 【買付け等に要する資金に充当しうる預金又は借入金等】

届出日以後に借入を予定している資金

借入先の業種	借入先の名称等	借入契約の内容	金額 (円)
銀行	株式会社みずほ銀行 (東京都千代田区丸の内 一丁目3番3号)	買付け等に要する資金に充当するための借入れ(注) 弁済期:平成26年6月30日 (期限一括返済) 金利:株式会社みずほ銀行が公表する 短期プライムレートと同率 担保:公開買付者の普通株式	1,450,000,000
計			1,450,000,000

(注) 公開買付者は、上記金額の融資の裏づけとして、株式会社みずほ銀行から1,450,000,000円を限度として融資を行う用意がある旨の証明書を平成26年2月13日付で取得しております。なお、当該融資の貸付実行の前提条件として、本書の添付書類である融資証明書記載のものが定められております。

8 【決済の方法】

(1) 【買付け等の決済をする金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地】

みずほ証券株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号

(2) 【決済の開始日】

平成26年4月7日(月曜日)

(3) 【決済の方法】

公開買付期間終了後遅滞なく、本公開買付けによる買付け等の通知書を応募株主等（外国人株主の場合はその常任代理人）の住所宛に郵送いたします。買付けは、現金にて行い、買付代金からみなし配当に係る源泉徴収税額（注）を差し引いた金額を応募株主等（外国人株主の場合はその常任代理人）の指示により、決済の開始日以後遅滞なく、公開買付代理人から応募株主等（外国人株主の場合はその常任代理人）の指定した場所へ送金するか、公開買付代理人の応募受けをした応募株主等の口座へお支払いします。

（注） 公開買付けにより買付けられた株式に対する課税関係について

（ ） 税務上の具体的なご質問等につきましては、税理士等の専門家にご確認いただき、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

（イ） 個人株主の場合

本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額が、公開買付者である株式発行人の資本金等の額（連結法人の場合は連結個別資本金等の額）のうち交付の基となった株式に対応する部分の金額を超えるとときは、みなし配当の金額は配当所得に係る収入金額となります。また、交付を受ける金銭の額からみなし配当の金額を除いた部分の金額は株式の譲渡所得等に係る収入金額とみなされます。なお、みなし配当の金額が生じない場合は、交付を受ける金銭の額の全てが株式の譲渡所得等に係る収入金額となります。

みなし配当の金額に対しては、原則として、その金額の20.315%（所得税及び復興特別所得税：15.315%、住民税：5%）に相当する金額が源泉徴収されます（非居住者については、住民税は徴収されません。）。ただし、個人株主が大口株主等に該当する場合は、20.42%（所得税及び復興特別所得税のみ）を乗じた金額が源泉徴収されます。また、株式の譲渡所得等に係る収入金額から当該株式に係る取得費等を控除した金額は、原則として、申告分離課税の対象となります（国内に恒久的施設を有しない非居住者については、原則として、課税の対象となりません。）。

（ロ） 法人株主の場合

みなし配当の金額については、配当等の額となり、原則として、その金額に15.315%（所得税及び復興特別所得税）を乗じた金額が源泉徴収されます。また、交付を受ける金銭の額のうち、みなし配当の金額以外の金額は、有価証券の譲渡に係る対価の額となります。

（ハ） 外国人株主のうち、適用ある租税条約に基づき、当該みなし配当金額に対する所得税及び復興特別所得税の軽減又は免除を受けることができる株主で、かつ、それを希望する株主は、公開買付期間の末日までに公開買付代理人に対して租税条約に関する届出書を提出することを通知するとともに決済の開始日の前営業日までに同届出書を公開買付代理人にご提出ください。

(4) 【上場株券等の返還方法】

後記「9 その他買付け等の条件及び方法」の「(1) 法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第4項第2号に掲げる条件の有無及び内容」又は「(2) 公開買付けの撤回等の開示の方法」に記載の条件に基づき応募株券等の全部又は一部を買付けないこととなった場合には、公開買付代理人は、返還することが必要な株券等を公開買付期間の末日の翌営業日から起算して4営業日目（公開買付けの撤回等を行った場合は撤回等を行った日）以後、速やかに応募が行われた時の状態に戻します。

9 【その他買付け等の条件及び方法】

(1) 【法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第4項第2号に掲げる条件の有無及び内容】

応募株券等の数の合計が買付予定数(1,400,000株)を超えないときは、応募株券等の全部の買付けを行います。応募株券等の数の合計が買付予定数(1,400,000株)を超えるときは、その超える部分の全部又は一部の買付けは行わないものとし、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び府令第21条に規定するあん分比例の方式により、株券等の買付け等に係る受渡しその他の決済を行います(各応募株券等の数に1単位(100株)未達の株数の部分がある場合、あん分比例の方式により計算される買付株数は各応募株券等の数を上限とします。)。

あん分比例の方式による計算の結果生じる1単元未達の株数を四捨五入して計算した各応募株主等からの買付株数の合計が買付予定数に満たないときは、買付予定数以上になるまで、四捨五入の結果切り捨てられた株数の多い応募株主等から順次、各応募株主等につき1単元(追加して1単元の買付けを行うと応募株券等の数を超える場合は応募株券等の数までの数)の応募株券等の買付けを行います。ただし、切り捨てられた株数の等しい複数の応募株主等全員からこの方法により買付けを行うと買付予定数を超えることとなる場合には、買付予定数を下回らない範囲で、当該応募株主等の中から抽選により買付けを行う株主を決定します。

あん分比例の方式による計算の結果生じる1単元未達の株数を四捨五入して計算した各応募株主等からの買付株数の合計が買付予定数を超えるときは、買付予定数を下回らない数まで、四捨五入の結果切り上げられた株数の多い応募株主等から順次、各応募株主等につき買付株数を1単元(あん分比例の方式により計算される買付株数に1単元未達の株数の部分がある場合は当該1単元未達の株数)減少させるものとします。ただし、切り上げられた株数の等しい複数の応募株主等全員からこの方法により買付株数を減少させると買付予定数を下回ることとなる場合には、買付予定数を下回らない範囲で、当該応募株主等の中から抽選により買付株数を減少させる株主を決定します。

(2) 【公開買付けの撤回等の開示の方法】

当社は、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の11第1項但書に基づき、本公開買付けの撤回等を行うことがあります。

撤回等を行おうとする場合は、電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。ただし、公開買付期間の末日までに公告を行うことが困難な場合は、府令第11条に規定する方法により公表を行い、その後直ちに公告を行います。

(3) 【応募株主等の契約の解除権についての事項】

応募株主等は、公開買付期間中においては、いつでも公開買付けに係る契約を解除することができます。契約の解除の方法については、前記「6 応募及び契約の解除の方法」の「(2) 契約の解除の方法」に記載の方法によるものとします。なお、当社は応募株主等による契約の解除があった場合においても、損害賠償又は違約金の支払いを応募株主等に請求しません。また、応募株券等の返還に要する費用も当社の負担とします。解除を申し出られた場合には、応募株券等は当該解除の申出に係る手続終了後、速やかに前記「8 決済の方法」の「(4) 上場株券等の返還方法」に記載の方法により返還します。

(4) 【買付条件等の変更をした場合の開示の方法】

当社は、公開買付期間中、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の6第1項により禁止される場合を除き、買付条件等の変更を行うことがあります。買付条件等の変更を行おうとする場合は、その変更内容等につき電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。ただし、公開買付期間の末日までに公告を行うことが困難な場合は、府令第11条に規定する方法により公表を行い、その後直ちに公告を行います。買付条件等の変更がなされた場合、当該公告が行われた日以前の応募株券等についても、変更後の買付条件等により買付けを行います。

(5) 【訂正届出書を提出した場合の開示の方法】

訂正届出書を関東財務局長に提出した場合は、直ちに訂正届出書に記載した内容のうち、公開買付開始公告に記載した内容に係るものを府令第11条に規定する方法により公表します。また、直ちに公開買付説明書を訂正し、かつ、既に公開買付説明書を交付している応募株主等に対しては、訂正した公開買付説明書を交付して訂正します。ただし、訂正の範囲が小範囲に止まる場合には、訂正の理由、訂正した事項及び訂正後の内容を記載した書面を作成し、その書面を応募株主等に交付する方法により訂正します。

(6) 【公開買付けの結果の開示の方法】

本公開買付けの結果については、公開買付期間の末日の翌日に、令第14条の3の4第6項及び第9条の4並びに府令第19条の2に規定する方法により公表します。

(7) 【その他】

本公開買付けは、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて行われるものではなく、また米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段(ファクシミリ、電子メール、インターネット通信、テレックス及び電話を含みますが、これらに限りません。)を利用して行われるものでもなく、更に米国の証券取引所施設を通じて行われるものでもありません。上記方法・手段により、若しくは上記施設を通じて、又は米国内から本公開買付けに応募することはできません。また、本公開買付届出書又は関連する買付書類は、米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、郵送その他の方法によって送付又は配布されるものではなく、係る送付又は配布を行うことはできません。上記制限に直接又は間接に違反する本公開買付けへの応募はお受けできません。本公開買付けへの応募に際し、応募株主等(外国人株主の場合は常任代理人)は公開買付代理人に対し、以下の表明及び保証を行うことを求められることがあります。

応募株主等が応募の時点及び公開買付応募申込書送付の時点のいずれにおいても米国に所在していないこと。本公開買付けに関するいかなる情報(その写しを含みます。)も、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、これを受領したり送付したりしていないこと。買付け若しくは公開買付応募申込書の署名交付に関して、直接間接を問わず、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段(ファクシミリ、電子メール、インターネット通信、テレックス及び電話を含みますが、これらに限りません。)又は米国内の証券取引所施設を使用していないこと。他の者の裁量権のない代理人又は受託者・受任者として行動する者ではないこと(当該他の者が買付けに関する全ての指示を米国外から与えている場合を除きます。)

当社はA s t iとの間で、平成26年2月13日付けで本公開買付けにA s t iが保有する当社普通株式の一部である1,284,500株(保有割合21.04%)を応募する旨の公開買付けに関する応募契約書を締結しており、かかる応募の前提条件は存在しません。また、A s t iの保有する当社普通株式の全て(1,760,800株)には、株式会社りそな銀行による担保権が設定されておりますが、上記契約書において、A s t iは、その保有する当社普通株式の一部である1,284,500株(保有割合21.04%)について、公開買付期間の末日までに当該担保権を解除した上で本公開買付けに応募するものとされております。

第2 【公開買付者の状況】

1 【発行者の概要】

- (1) 【発行者の沿革】
- (2) 【発行者の目的及び事業の内容】
- (3) 【資本金の額及び発行済株式の総数】

2 【経理の状況】

- (1) 【貸借対照表】
- (2) 【損益計算書】
- (3) 【株主資本等変動計算書】

3 【株価の状況】

(単位：円)

金融商品取引所名又は認可 金融商品取引業協会名	株式会社東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)						
	平成25年 8月	平成25年 9月	平成25年 10月	平成25年 11月	平成25年 12月	平成26年 1月	平成26年 2月
月別							
最高株価	1,270	1,710	1,260	1,200	1,209	1,308	1,210
最低株価	1,077	1,078	1,123	1,116	1,105	1,162	1,062

(注) 平成26年2月の株価は、2月13日までの株価であります。

4 【継続開示会社たる公開買付者に関する事項】

(1) 【発行者が提出した書類】

【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第54期 (自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日) 平成24年9月14日 関東財務局長に提出
事業年度 第55期 (自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日) 平成25年9月20日 関東財務局長に提出

【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第56期第2四半期 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日) 平成26年2月13日 関東財務局長に提出

【訂正報告書】

該当事項はありません。

(2) 【上記書類を縦覧に供している場所】

株式会社構造計画研究所

(東京都中野区本町四丁目38番13号 日本ホルスタイン会館内)

株式会社構造計画研究所 大阪支社

(大阪市中央区淡路町三丁目6番3号 NMプラザ御堂筋ビル5階)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)